

愛知県立小牧南高等学校「三つの方針」

1 目指す生徒像(育成を目指す資質・能力に関する方針)

本校は「知・行・恕」を校訓とし、「グローバルな視野を備え、社会の発展に貢献できる、心身ともに健康で活力ある人間を育成する」と教育目標を定めています。次の2に示す本校における学びを通し、「牧南生」として次のような生徒を育成していきます。

- 身近な気付きをこれから社会で起こりうる諸問題の芽としてとらえ、グローバルな視点からそれを掘り下げて解決策を自ら考えることができる生徒
- 自らのあり方、生き方について真摯に模索し、他者の考えを聞き他者と協働的に活動しつつ、社会に参画する将来像を見つけ出すことができる生徒
- 学業、部活動、諸行事に自ら納得するまで打ち込み、心身ともに健康で活力ある生活を送ることができる生徒

2 本校における学び(教育課程の編成及び実施に関する方針)

アクティブ・ラーニング実践の深化

- 自ら問いを立て、すぐに答えの見つからない課題にも主体的に取り組む学びを深める
- 考えを表現し共感性をもって聞く、対話的な学びでコミュニケーション能力を身に付ける

探究的な学習

- 書物や新聞、インターネットなどを活用して的確に情報を収集し、批判的思考を用いつつ諸問題の本質を見出す
- 仮説・検証等の探究のプロセスを身に付け、筋道立てて物事を考察する

人間的な成長、人間力の育成

- 様々な活動に積極的にに関わり、失敗からも学ぶ経験を積むことで自信を深める
- 各種の学校行事を通して情操を豊かにし、他者と協力する姿勢や思いやる心を持つ

3 入学を期待する生徒像(入学者の受入れに関する方針)

大学受験に向けた勉強だけではなく、学校の授業、行事や部活動などで、自分の興味関心を持ったことに打ち込み、学びと経験を重ねながら自分を成長させようとする生徒を求めます。したがって身に付けてほしい資質としては、学力だけでなく、多様性を受け入れる姿勢、対話性、主体性、探究心、思いやりや奉仕の心、も重視します。具体的には次の例に一つでも当てはまる生徒の入学を期待します。

- これまでに学業、部活動など一つのことに打ち込んで頑張ってきた経験と、自分が身に付けたことを他者に教えてともに成長したいという気持ちとを持った生徒
- 答えを安易に求めるのではなく、様々なことに疑問や関心を持ち、自ら試行錯誤して経験を深めたり、友だちと協力し学び合っ解決策を見出したりしようとする生徒
- 多様性や互いの個性を認め合い、他者に思いやりの心を持って接しながら、人間関係を広げていこうとする生徒